

校務 DX 計画において、GIGA スクール構想で導入された端末の「標準仕様のツール」を活用した校務 DX を推進していく。また、次世代校務支援システムについては、沖縄県教育委員会と県域での導入に向けて連携を図っていく。

GIGA スクール構想で導入された 1 人 1 台端末の標準仕様のツールは、クラウドの活用が前提となっている。また、「校務 DX チェックリスト」の項目では、標準仕様のツールで実践可能な内容となっており、日々の校務改善に標準仕様のツールをフル活用していき、働き方改革を推進していく。

1. コミュニケーションツールの活用

グループウェアやチャットでの連絡・情報共有を行うことにより、スムーズな連携を図ることが可能となる。また、チャット上で共有した資料やリンクはチャットスペース上に保存され、後日確認・編集等が可能で、作業する時間も個々のタイミングで調整可能となり、業務時間の削減に繋がる。会議資料のペーパーレス化や FAX の使用、押印を見直すことにより、校務の削減、効率化を図ることができる。

2. クラウドツールの活用

チャット同様、標準仕様のクラウドツールの校務での利活用を促進する。例えば、表計算ソフト等での校務の進捗状況を把握、共同編集機能で勤務の動態表等の作成、その他には学校評価、アンケートフォームの活用、カレンダー機能を活用した行事の共有等についても標準仕様のツールを活用することで、ペーパーレス化の促進及び校内での確認・共有が容易となり、業務削減等にも繋がる。また、ホームページ作成ツール等も活用し、学校のホームページ、校内研のサイト、各種委員会のサイトなど情報を一元化し、情報共有を簡便にすることができる。

3. 校務 DX チェックリスト

校務 DX チェックリストの項目は、標準仕様のクラウドツールで十分対応可能となっており、クラウドツールの校務での利活用の促進を図るための教育委員会の研修や校内研と連携した研修の充実を図っていく。

4. 校務の授業の研修(校務と授業と研修が相似形になる利活用を促進)

導入されているクラウド環境と標準仕様アプリにより、校務だけでなく研修等でも利活用を促進し、そのノウハウを授業に生かすことが求められている。標準仕様のクラウドツールを校務・授業・研修など校務のあらゆる場面で使えるよう実践を深めていく。

5. 校務での生成 AI の利活用について

校務での生成 AI の利活用を図る。まずは、日常の公文等の文章の添削、要約、学校アンケートの分析等で活用する。授業や授業外でのアイデア出しなど、校務で慣れるから活用までを想定し、研修会等も計画的に実施していく。

6. 次世代校務支援システムの導入に向けて

沖縄県教育委員会と次世代校務支援システムの導入に向けて連携を図り、校務 DX の推進を図っていく。